

令和6年度

パピーナ南荻窪保育園 すくわくプログラム

テーマ：かたち・かず・ことば・巧緻性

活動⑤ かたち

絵を見てあわせてみる

環境をデザインする

●準備した物 カード

探究活動を実践する

●活動内容

1枚の絵になるように並べる
どんな絵が完成するかを想像する

●子どもたちの様子



前回の絵合わせを覚えていた子どもたちは、1枚の絵をどのように完成させるかを「こうする」「上にする」などと手ぶりを交えながら、一生懸命説明しようとする姿が見られた。3分割カードを見せ「さっきのカードとどう違う？」と問いかけると、子どもたちは「枚数が違う」「形が違う」と答え、言葉と手を使いながら説明していた。カードを見て「イチゴ」と答えた子に「帽子じゃない？」と声をかけると、「緑の部分（へた）があるから」と理由を考えながら手や言葉で表現していた。お友達に昆虫や花などの絵を見ながら名称を伝える場面も多く見られ、「花が好き」「昆虫が好き」「車が好き」など、子どもたち同士で会話を楽しむ様子もあった。

2分割カードが簡単にできたことで、「簡単！」「もっとやりたい！」と意欲的に3分割カードにも積極的に挑戦していた。最初は「難しい」と言っていた子も、好きな乗り物のカードで取り組むと、最後まで完成させることができ、満足そうな表情を浮かべていた。

振り返りをふまえた気づき

講師より

絵合わせは2回目のこともあり、子どもたちは自分の考えや感じたことを伝えようと真剣に取り組み、集中している様子だった。最初から積極的な発言で友達と関わっていた。自信をもって取り組むことが出来たようで、子

担任より

カードを配られると嬉しそうに取り組み、出来たことを報告していた。テーブルごとにカードの内容が異なりそれが気になるようだった。自分の好きな種類のカードでないと意欲をなくしてしまう子がいた。乗り物、昆虫、花、動物等あったので、好みの物でないとやろうとしない姿も見られた。カード合わせは以前にも行ったことがあったので、ほとんどの子はすぐに完成させていた。3枚になると完成図が想像できず、難しい様子もあった。

活動スケジュール

3歳児クラス

日にち	令和6年12月13日
時 間	30 分
参加人数	10 人

令和6年度

パピーナ南荻窪保育園 すくわくプログラム

テーマ：かたち・かず・ことば

活動⑤ かたち

仲間分けを理解を深める

環境をデザインする

- 準備した物 カード、台紙

探究活動を実践する

- 活動内容

色、形で分けてみる

- 子どもたちの様子



服についている色で仲間分けをすると、子どもたちは楽しそうに自分の服の色を探し、嬉しそうに伝えていた。黄色とオレンジ、青と緑など、色の違いについて子ども同士で会話する姿もあった。

カードを手で触りながら、「これかな？」と考えたり、形や色ごとに分けたりと、それぞれの方法で取り組んでいた。色カードと四角い形カードなど、似ているカードの違いに気づいて説明をしていた。また、カードが混ざったり落ちたりしないように気をつけたり、台紙の枠に丁寧にまっすぐ置く子もいて、集中して取り組む様子だった。

自由に仲間分けをすると、すぐに表を作り始める子もいれば、最初は少し戸惑いながらも、最後には自分なりの表を完成させて満足そうな表情をみせていた。中には、前回との違いに気づき、新しいカード（長四角）が加わっていることをすぐに発見する子もいた。

完成した表を見て感想を聞くと、「同じ形！」「同じ色！」と嬉しそうに答える姿があった。

振り返りをふまえた気づき

講師より

カードの数が前回より増えていたにもかかわらず、2回目ということもあって、子どもたちはカードをよく見て丁寧に確認しながら、まっすぐに置くなど余裕を持って取り組む様子がみられた。

担任より

色や形の仲間になるよう集中して分けることが出来ていた。今まで悩んでいた児も、自分の力でスムーズに仲間分けができるようになってきたと感じる。子どもたちも、どうしたらいいのかだんだんと見通しが持てるようになったと感じる。

活動スケジュール

4歳児クラス

日にち	令和6年12月13日
時間	30分
参加人数	9人

令和6年度

パピーナ南荻窪保育園 すくわくプログラム

テーマ：かたち・かず・ことば

活動⑥ かず

数量の理解を深める

環境をデザインする

- 準備した物 タイル

探究活動を実践する

●活動内容

1あたりの量の数の考え方を体験する



●子どもたちの様子

10までの数唱は、子どもたちは「簡単だ」と言い、さらに「100まで数えたい」との発言もあった。カラータイルの色を決めるときに、自分の好きな色にしたいと主張する子もいたが、みんなで行っている時は自分の思い通りにならないことも理解し参加していた。

「たくさんのタイヤを買うお金がない」といった現実的な発言もあった。一輪車、自転車、三輪車のタイヤの数はスムーズに答えられたが、自動車のタイヤの数がわからず、窓から見える駐車場の実際の車を観察し、タイヤの数を考えてみた。一台の車のタイヤの数から複数台のタイヤの数は、自然にイメージすることができており、「車4台ならタイヤは16個」とすぐに発言する子もいた。

振り返りをふまえた気づき

講師より

カラータイルを立たせて並べる子どもたちがおり、中にはタイヤに見立てて楽しそうに並べている姿あった。子ども達のイメージが膨くらんで楽しそうだった。

間違えて書いたことを気にする子がいたが「練習だから間違えても良い」と伝えると安心して次に進むことができていた。今後も繰り返し伝えることで、子どもたちが安心して取り組める環境を作っていきたい。

担任より

慣れから先に進めてしまおうとしたり、話しの途中で割り込んでしまう姿はあるが、戸外活動後でも集中してワークを行うことが出来ていた。話をしっかり聞いていれば理解が出来るが、時間が掛かる友達に対してすぐに「〇〇をやるんだよ」と教えてしまう子が目立つので、まずは自分で考える時間を作ることを伝えていきたい。

活動スケジュール

5歳児クラス

日にち	令和6年12月13日
時 間	45 分
参加人数	10 人